



平成29年 8月10日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 金丸 勲
(JASDAQ・コード 8704)
問合せ先 執行役員 朝倉 基治
(TEL 03-4330-4700 (代表))

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年6月30日）決算において特別損失を計上するとともに、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 特別損失の発生について

契約解除損失及び契約解除引当金繰入額（連結）

当社は、平成29年7月31日に「子会社における発電装置売買契約の解除通知受領に関するお知らせ」で、当社の子会社である株式会社ZEエナジー（以下、「ZEエナジー」といいます。）が、エア・ウォーター株式会社（以下、「エア・ウォーター」といいます。）と締結した『安曇野バイオマスエネルギーセンター』の木質バイオマスガス化発電装置の売買契約が解除されたことを公表いたしました。同契約解除により発生する損失金額が確定しましたのでお知らせいたします。

損失金額は、ZEエナジーがエア・ウォーターへ返済する売買代金の既受領額1,146百万円から、同発電装置の再利用可能な部品・装置を棚卸資産として計上した662百万円を差引き、完成工事未収入金の戻入等の会計処理を行い算出した556百万円を契約解除損失として特別損失に計上するとともに、今後、同発電装置の撤去・保管等に掛かる費用の見積額50百万円を契約解除損失引当金繰入額として特別損失に計上しました。

2. 連結業績予想値の修正

平成30年3月期の連結業績予想修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：百万円）

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する当期 純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|--------------------------|--------------|-------------|---------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 4,300 | △620 | △670 | △670 | △8円00銭 |
| 今回修正予想 (B) | 3,150 | △840 | △1,040 | △1,650 | △19円27銭 |
| 増減額 (B-A) | △1,150 | △220 | △370 | △980 | |
| 増減率 (%) | △26.7 | — | — | — | |
| (ご参考) 前期実績 (平成29年3月期) | 3,004 | △1,248 | △1,424 | △1,433 | △18円04銭 |

<修正の理由>

当第1四半期連結累計期間に上記特別損失が発生したことに加え、ZEエナジーの上記契約解除に伴う平成30年3月期通期業績への影響を検証した結果、平成29年5月12日に公表した平成30年3月期の連結業績予想と乖離が生じたので、通期連結業績予想値を修正することといたしました。

営業収益は、従来予想4,300百万円から1,150百万円下方修正し、3,150百万円となる見込みです。これは主に、当初見込んでいたZEエナジーの木質バイオマスガス化発電装置の新規着工が翌期にずれこむことが見込まれるため下方修正したものです。従来予想では、複数ある見込み案件のうち同発電装置の当期中の新規着工は3件程度と見込み、平成29年4月に電力会社への接続検討の申請を全ての案件について行いました。8月に2件の接続の可否に関する回答を電力会社から受領しましたが、1件は接続可能との回答を受け、残り1件は、新設する発電所から電力会社へ送電する際の電力の逆潮流を防止する対策として、電力会社側による送電網及び変電所の調整工事が別途必要で、当該工事に1年以上の期間を要する旨の回答がありました。上記の接続可能と回答を受けた1件については、当社の持分法適用関連会社である株式会社ZEデザイン（以下、「ZEデザイン」といいます。）に木質バイオマスガス化発電装置を販売する予定をしており、平成30年1月の工事開始を見込んでおります。もう一方の電力会社による送電網等の調整工事が必要と回答があった1件については、当期中におけるZEエナジーの工事着工は難しくなったことから、当期の計画には織り込まないことといたしました。その他、現時点までに回答を受領していない案件は来期分も含め複数ありますが、そのうちの1件は従来予想より2ヶ月程度着工が遅れ、来年2月の工事開始として計画を見直しております。

営業損失は、従来予想620百万円から220百万円下方修正し、840百万円の営業損失となる見込みです。これは主に、当第1四半期連結累計期間の実績が当初業績予想を93百万円下回ったことに加え、7月以降のZEエナジーの発電装置の売上が従来予想から減少すると見込んだことにより営業損失が増加したものです。

経常損失は、従来予想670百万円から370百万円下方修正し、1,040百万円の経常損失となる見込みです。これは主に、営業損失220百万円の方修正に加え、営業外費用において借入金増加による支払利息が119百万円従来予想より増加すると見込んだことによります。

親会社株主に帰属する当期純損失は、従来予想670百万円から980百万円下方修正し、1,650百万円となる見込みです。これは主に、経常損失370百万円の方修正に加え、当第1四半期連結累計期間に発生した上述の契約解除損失556百万円及び契約解除引当金繰入額50百万円を特別損失に計上したことによります。

なお、本業績予想の下方修正を重く受け止め、その経営上の責任を明確にするため、平成29年8月以降の代表取締役社長及び副社長の役員報酬を減額することといたします。

以上

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので、予めご了解ください。